

経営改善レベルアップ・人材育成に役立つ情報をお届け



News Letter

経営と人材

※ ニュースレター「経営と人材」は、過去に名刺交換させていただいた方へお送りしています。

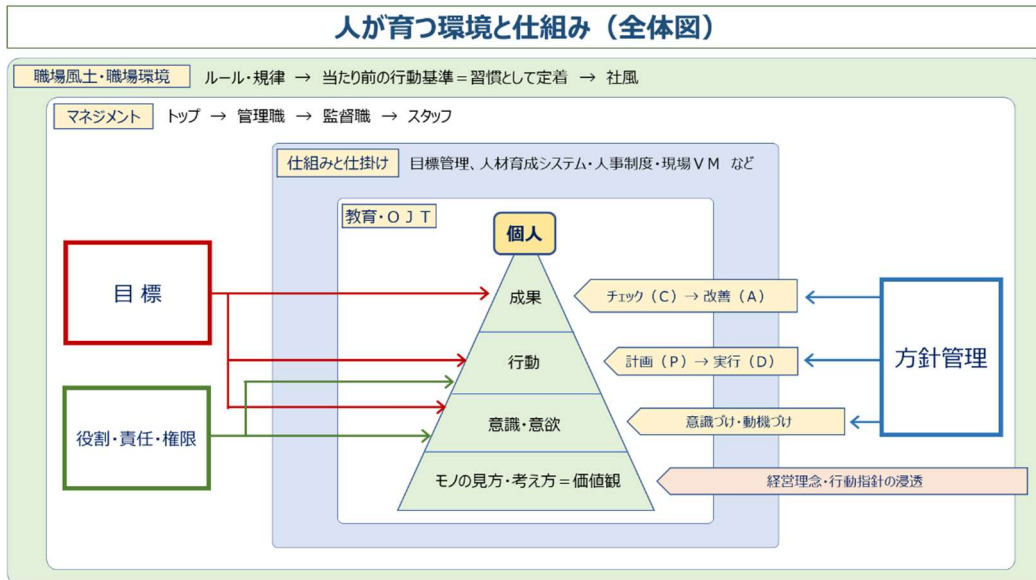
【No.2】2019年3月 <発行元> 株式会社シーアークス



経営 Topic

人が育つ条件

会社の人材育成において、「現場に人を投入すれば、勝手に人が育つ」ということは実際のところはありません。もし人が育ったケースがあったとしても、それはたまたまです。他の別の人を投入して、単純に同様の結果にはならないでしょう。どうしたら、会社が期待するようなレベルに人は育ち、会社にとっての“人財”として戦力になっていくのでしょうか？その答えは「人が育つ環境と仕組みのつくり方、その運用方法」にあり、その確立が大事なポイントです。以下にその全体図を示します。 ※詳細解説は弊社サイトにて <http://c-arks.co.jp/topic-k1>



個人で成果が出せるかは“その人の持つ意欲・行動など保有能力による”ところが大きいのは事実ですが、本来の能力を十分に発揮できるかどうかは“会社の環境や仕組みのあり方”が大きく影響します。「個人に努力や成長を求め、その結果が良かった・悪かった」と会社が評価するだけでなく、「人が育つ環境と仕組み＝条件づくり」が大事だということです。市場の労働力不足、若年労働力の減少は今後も続き、人員の新規確保での充足は更に難しくなり、今後は“人の定着”に力点を置くことが重要になってきます。またベテランの技能継承も進め、会社の固有ノウハウを確立(維持)させていく課題もあります。「採用による人員の充足」から「既存人員の育成⇒定着⇒戦力化」の取組みへ重点をシフトし、その仕組みを確立させていくことが必要です。そのためには「人が育つ条件＝環境と仕組み」を整えていくべきです。

(株式会社シーアークス コンサルタント 渡辺正人)

経営キーワード 経営の原理原則

経営の成果は“経営者の経験値の高さ”から得られることが多いのが実際のところですが、【経営の原理原則】とは、“会社経営における過去からの成功・失敗の法則”を形式知としてまとめた“経営判断の土台となる考え方”です。【経営の原理・原則】を理解できている経営者は、成功の確率をより高めることができます。経営は実践であり、“正しい考え方(判断基準)×強い意思×持続力”が不可欠です。原理原則に則った経営を継続することで現実的な成果が期待できます。また成功を目指せば、常に失敗のリスクも伴います。たとえ失敗したとしても、それを経験値として前向きに蓄積できれば、視野拡大・ノウハウ獲得・スキル向上につながります。“過去の失敗を活かし、先々の成果を最大化(成功)させること＝改善レベルアップ”も、【経営の原理・原則】の一つです。

